



MIZUKI

医療連携室ニュース「みずき」

{volume}

30

2016 WINTER

CONTENTS

2016 年頭のご挨拶

新中央手術棟 間もなく完成
「チーム医療による24時間体制で断らない手術室」

がん治療周術期における口腔ケアの重要性

PET-CTオープン検査 開始のお知らせ

病院機能評価 (3rdG:Ver.1.1) に認定されました

「連携医療機関登録制度」の登録募集

編集後記

2016 年頭のご挨拶



広域医療連携センター
センター長
黒岩 敏彦

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は1月に訪問看護ステーションを立ち上げ、7月に三島南病院を開院いたしました。従来からある健康科学クリニックが未病や病気の予防を、高度急性期・急性期を大学病院が、急性期・回復期・慢性期を三島南病院が、そして在宅医療を訪問看護ステーションが担当するというシームレスな地域包括ケアシステムの構築が進みました。今後は、より一層地域の医療機関、介護施設、行政等との連携を密に図りながら、協力して地域医療に貢献していきたいと考えています。お陰様で連携医療機関は800施設を越えました。

一昨年に設置いたしました先生方とのホットライン(循環器内科、赤ちゃんの心臓、周産期、脳卒中)が順調に機能し、緊急症例に速やかに対応させていただいていると自負しています。また、本年4月には中央手術棟が稼働し、手術室は現状の13室から20室に、ICUは8床から16床になりますので、手術などもお待たせすることのない体制が整います。

当院は、特定機能病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院など多くの指定を有する施設です。高度な技術を駆使し、多岐に渡る先進医療を推進してまいりますので、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

Topic 1 新中央手術棟 間もなく完成



中央手術部
部長

南 敏明

(みなみ としあき)

チーム医療による24時間体制で断らない手術室

2016年3月に竣工予定の中央手術棟は、1階 中央材料室、2階 集中治療室 (16床)、日帰り手術室 (4室)、3階 中央手術室 (16室、ハイブリッド (CT、アンギオ) 手術室、バイオクリーン手術室2室を含む)、4階 胸部外科病棟、5階 消化器外科病棟、6階 機械室からなります。

「24時間体制で断らない手術室」を継続するため、チーム医療を実践し引越しの期間中も緊急手術に対応できるように体制を整えています。

2014年には総手術件数9,007件、麻酔科管理症例6,043件でしたが、すぐに年間10,000件の手術が安全に施行されると思います。



OP室イメージ図



臨床工学技士

林 昌孝

設計段階から臨床工学技士が積極的に参加し現場の意見を反映させました。新手術棟にはハイブリッド手術室など最新鋭の設備が設置されます。これらの安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。



私たちが手術室を全力でサポートします!

病院薬剤部

牧野 順子

手術室で使う薬品を各法規に従って供給・保管・管理し、手術毎に薬の使用状況を把握・監査します。術前から術後まで一括して薬剤師が薬を管理することで、適正使用に貢献し医療スタッフが本来業務に専念できるようサポートします。

小西医療器株式会社

常盤 直也

看護師をはじめ各部門と日々連携を図りながら、「必要な時に必要な物が使用できる」「医療従事者が本来の業務に専念できる」環境づくりという視点で物流管理を行っております。中央手術棟でもチームの一員として更なる連携を図ってまいります。

看護師長

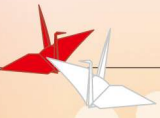
久永 美智子

「断らない手術室」をスローガンに、手術チーム(外科医・麻酔科医・看護師・看護事務・臨床工学技士・薬剤師・物流部・清掃業務職員)は、効果的にコミュニケーションをとり、手術の安全な実施のために必要な情報交換を徹底しています。一人の手術患者さまに関わっている手術チームの一員として、役割・責任感を強く意識しています。

(株)ダスキンヘルスケア

星本 大輔

私達は、手術室・ICUの衛生管理を担当しています。迅速かつ丁寧に対応し、医師や看護師の方々が医療・看護業務に専念できる環境づくりを目指しています。



Topic2 がん治療周術期における口腔ケアの重要性



歯科口腔外科
科長

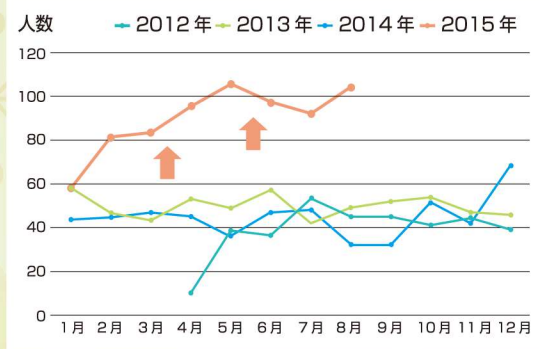
植野 高章

(うえの たかあき)

2012年のがん対策推進基本計画に「がん患者への口腔ケアの推進」が明記され、がん拠点病院や特定機能病院などで、口腔ケアの重要性は周知されつつあります。全身麻酔手術後の誤嚥性肺炎予防、頭頸部から上部消化器にかけての手術後創部感染予防に有効であり、術後の発熱軽減や在院日数が減少することが明らかとなりました。大阪医科大学附属病院では、各診療科のご

協力のもと、がん治療患者の周術期口腔ケアが周知され口腔ケア実施患者数は全国でもトップレベルとなっています(図1)。

がん治療周術期口腔ケアの主な目的は「口腔内のトラブルでがん治療が中断されないように治療前に口腔内を清潔な状態にすること」です。誤嚥性肺炎の原因菌は30~40%が口腔内の歯周ポケットに潜む口腔レンサ球菌や嫌気性菌とされています。手術前に歯周ポケットを徹底的に清掃することで術後の誤嚥性肺炎の発症率が低下し、全身化学療法、頭頸部放射線照射により生じる口腔粘膜炎も保湿や口腔清掃等の口腔ケアにより軽減されます(図2)。この文章をお読みいただいた医療機関の方々におかれましては、がん治療における口腔ケアの重要性(図3)をご理解いただき、日々の臨床に役立てていただければ幸いです。



(図1) 周術期口腔ケア 初診患者数推移



(図2) ベッドサイドでの口腔ケアと保湿

がん治療開始前の口腔ケア

口腔の清潔・感染源除去・保湿

がん治療周術期の
口腔内原因トラブル減少

(図3) 口腔ケアの重要性

Topic3 PET-CTオープン検査 開始のお知らせ

中央放射線部 技師長 石浦 基文

^{18}F -FDGを用いたPET-CT検査は臨床現場に登場して以降、多くの悪性腫瘍、心疾患、脳疾患の診療に欠かすことのできない重要な検査となっております。本院におきましても2014年10月より、最新鋭の高性能PET-CT装置(Discovery PET/CT 710 GE社製)を導入し、2015年10月よりオープン検査を開始しました。本装置は最新の機能を有し従来型の装置に対してより高精度な画像の提供が可能



GE社製 PET/CT装置 Discovery PET/CT 710
Time of Flight機能 及び 空間分解能補正搭載



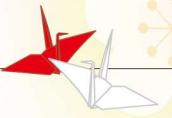
CT検査画像 + PET検査画像 → PET/CT検査画像
PET/CT検査の画像例

となりました。

検査は安静にしていただ
だけで全身を広く調べるこが

でき身体にご負担の少ない検査で、約3時間で完了します。

ご予約・お問い合わせにつきましては代表Tel:072-683-1221より
PET-RI検査室までご連絡ください。



Topic4 病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)に認定されました

病院長 黒岩 敏彦

昨年6月18日・19日に日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)を受審いたしました。病院の体制や構造を審査してきた従来のものから、機能の発揮や組織的な活動の評価を重視したものとなっています。5年振りの更新であり、一昨年5月に15名からなる推進本部と58名からなる実行委員会を立ち上げて準備を開始しました。まず現況調査票と自己評価表を準備し、数回の会議と2回の講演会を経て4月に訪問受審支援を受け、問題点を整理・対処し本審査に臨みました。2日間という短い期間でもあり、サーベイヤーに十分に説明し切れなかった部分もありますが、90%以上の項目で高評価をいただき再審査なく認定されました。



主たる機能：一般病院2
副機能：精神科病院

◎医療連携室からのお知らせ

■「連携医療機関登録制度」の登録募集



本院では地域の医療機関さまと相互に協力し、患者さまに良質な医療とサービスを提供することを目的として、「連携医療機関登録制度」を設けています。

平成27年12月10日現在で、122病院さま・505クリニックさま・199歯科クリニックさまのご登録をいただき、本院玄関前に連携医療機関さまの一覧を掲示しています。また電子カルテ内にいただいた情報を登録し、本院からの紹介に活用させていただいています。詳しい内容につきましては、本院のホームページをご確認ください。

大阪医科大学附属病院

検索

トップページ

→

医療機関さまへ

→

連携医療機関登録制度のご案内

編集後記

35歳で結婚した男がいた。お酒とタバコを大好きで、お腹がポッコリ、あだ名は『プクプクさん』。結婚を機に、禁煙を決断。せっかくだからと、ジョギングを始め、運動することなどほとんどなかった彼が、最後はフルマラソンに出場し完走した。恥ずかしながら10年以上前の私の姿である。自宅そばの小学校2周が限界だったのに、いつしか時間さえあればいくらでも走れるようになった。シューズはいくつ潰したろう。風呂に入るたび、大きくなる筋肉に驚き、大切にもみほぐす。自分の身体をこんなに大切に扱ったことはあっただろうか？身体と会話する。感謝と喜びで満たされていく。おかげ様で走れている。ひとりの力で走っていない。両親、家族、支えてくれる周囲の方々に感謝したい。振り返ると遠景に広がるこれまでの軌跡。しかし、いつものように視線は未来に前に向いていく。また新しい年、次の新しい一歩を踏み出していく。(M.M)



医療連携室ご利用のご案内

■医療連携室「FAX紹介申込書」受付時間

平日/8:30~20:00

土曜日/8:30~12:00

※第2・第4土曜日は休診です。

※FAX受信は24時間可能(休診時も含む)。

但し受付時間以外の受信については翌診療日以降の対応となります。

■送信先 FAX.072-684-6339

■連絡先

大阪医科大学附属病院

広域医療連携センター医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL.072-683-1221(大代表)内線2308

TEL.072-684-6338(医療連携室直通)

● 本院専用のFAX紹介申込書及び封筒をご用意しております。ご利用の場合は、電話又はFAXにてご請求ください ●